

巻頭言

現代政策学部長 小淵 洋一

2006年4月、現代政策学部が開設されました。現代政策学部は、21世紀国際社会で活躍できる、新しい人材の育成を目的として、公共政策コース、医療福祉経済コース、ビジネス法コース、地域イノベーションコースの4つのコースを設け、各コースに関連する分野で活躍できる人材、とりわけリーダーを育成したいと考えています。

さて、現代政策学部では、『城西現代政策研究』を発刊することにいたしました。本研究は、学部教員の研究成果を公表することによって、内外の学術交流を促進することを目的としていますが、経済学、法学、経営学、政治学、社会学など多様な分野での政策的な視点、さらにはグローバルな視点からの理論的・実証的な研究を掲載できるようにしたいと考えております。今回は、投稿規定を載せていませんが、論文については査読制度を導入し、論文の質の向上を図っています。本研究は、産声を上げたばかりで、これから評価を得ていかなければなりませんので、論文についてはしっかり査読を実施していきたいと考えています。

この『城西現代政策研究』の発刊にあたって、学校法人城西大学の水田宗子理事長からは「発刊に寄せて」、田中昭学長から「創刊によせて」をご投稿いただきました。本創刊号では、論文が6編、報告1編、昨年9月現代政策学部の開設を記念して実施した大場智満氏の講演録、そして本研究の創刊に当たって城西大学副学長で本学部教授の森田昌幸氏に特別投稿いただいた論文を掲載しました。本研究は、原則として年2回発行したいと考えております。

昨年9月、「政策分析ネットワーク」の第10回大会を城西大学の紀尾井町キャンパスで開催していただきましたことは、現代政策学部の開設の記念になるとともに、今後の学部の発展の足掛りにもなり、感謝に耐えません。伊藤元重会長をはじめ、政策分析ネットワークへの入会に際してお世話になりました宮川公男麗澤大学教授、田幸大輔事務局長、会員の皆様に深く感謝申し上げます。同大会では、本学部から2つのワークショップに参加しましたが、今後の大会においても発表の機会をいただければ幸いです。

誠に残念なことは、同大会においてもお伝えさせていただきましたが、開催にあたって学部の中心となって準備していた副学部長の新田光重教授が大会を見届けずに直前の9月22日急逝されたことでもあります。大会には、全国から400名を超える参加者があり、成功裡に終了したことを、告别式の弔辞でご報告させていただきました。

今回の『城西現代政策研究』の発刊をみずに亡くなられた新田光重教授の御霊にこの創刊号を捧げ、深くご冥福をお祈りいたします。